

2010 年度受託研究概要報告

神戸市広報印刷物のデザイン性向上についての研究

研究メンバー

- 赤崎正一 デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
高台泳 デザイン学部ビジュアルデザイン学科助教

委託者

神戸市

研究概要

本研究は「デザイン都市・神戸」を掲げている神戸市の広報印刷物について、そのデザイン性向上を目的に行ったものである。研究テーマは次の二つであった。

一つ目のテーマは「勧奨インフルエンザ予防接種のお知らせ」で、神戸市保健福祉局予防衛生課の依頼により、神戸市民と健康と安全を守るため、季節性インフルエンザ予防接種に関する認知度を高めるポスターを制作することが、その具体的な研究内容であった。

二つ目のテーマは「第12回国際フォーラム開催案内」で、神戸市保健福祉局と神戸市立看護大学の依頼により、看護大学で行われた国際イベントの開催を、医療関係者に向けて伝えるためのポスターとリーフレットを制作することであった。

いずれの研究も、市民生活の質的向上には欠かせない「医療」を大きなテーマにしていた。しかし「勧奨インフルエンザ予防接種のお知らせ」は満3歳から64歳以下の幅広い年齢層の市民を対象にしていたため、老弱男女を問わずわかりやすく、かつ明確にメッセージを伝える必要があった。それと同時に、市民の健康に危害を与えかねない「インフルエンザ」と「接種」をいかにして伝えるかもデザインで考慮しなければならなかった。

一方、「第12回国際フォーラム開催案内」は、医療関係者という特定ユーザーがあらかじめ設けられていた。そして掲示場所が医療・看護系大学及び専門学校、医療機関など、限られた場所であることを考慮しなければならなかった。そこで、神戸市立看護大学のロゴマークとそのカラーをバックイメージに使用して、主催者である神戸市立看護大学を前面に出すと同時に、メッセージをより明瞭かつ正確に伝えるべく、文字の種類と組み方に特に注意しながらポスターを制作した。

研究成果

「第12回国際フォーラム」はB4サイズのポスターとA4サイズのリーフレットの2種類を、イベントの開催時期である平成23年2月末の約2か月前に制作を完了した。そして印刷物はそれぞれ他の医療・看護系大学及び諸医療機関、公共機関を中心に掲示された。

特記すべきことは、この研究を機に、ポスターとリーフレットに入れる会場である「神戸市立看護大学」と神戸市営地下鉄「学園都市駅」間のアクセスマップも新たに制作したことであった。文字やグラフィックに気をつけながら、よりわかりやすく美しいマップのデザインに努めた。その結果作られた新・看護大学アクセスマップは、当該ポスターのみならず、神戸市看護大学のホームページにも使用されて、ホームページにもデザイン性向上にも役立つなど、多方面で役立っている。

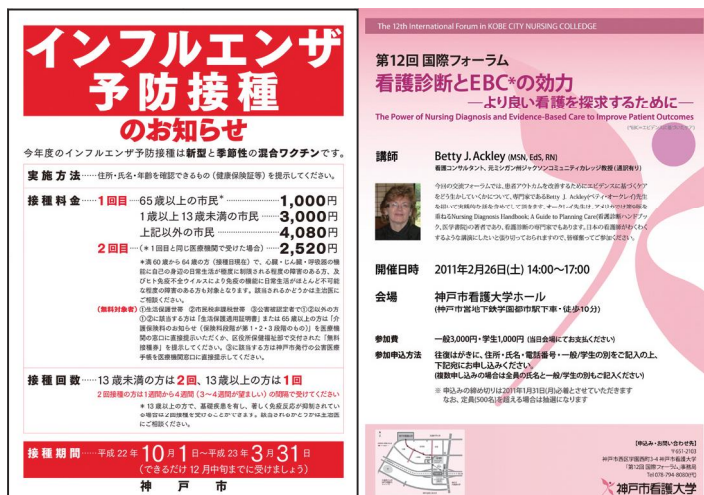


図1 (左) インフルエンザ予防接種 (右) 国際フォーラム開催案内